
新・仮面ライダーディケイドリミックス

杉崎竜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

新・仮面ライダーディケイドリミックス

【Zコード】

N4094M

【作者名】

杉崎竜

【あらすじ】

ゲーム・漫画・アニメ・特撮など様々な作品とコラボします。コラボして欲しい作品がありましたら気軽に申し付けて下さい。

コミックストーク 裏話

世界の破壊者、ティケイドー！幾つもの世界を巡り、自分の世界を探してきた…。一向に自分の世界は見つからない…。だが、旅こそが自分の世界であり、物語であると気付いた。今、また新たな旅が始まろうとしている…。

門矢 士

「何だこのグダグダした始まり方は？」

小野寺 ユウスケ

「仕方がないだろ士」。作者は文章能力が幼稚何だからさー…！」

光 夏海

「だから、読者の皆さんも温かい目で見て下さいね」

門矢 士

「はあ…。作者の文章能力が幼稚なのは、名護総司つて名乗つてた

時から変わらないのは知ってるが、またリミックス書くのか作者は
?」

小野寺 ユウスケ

「リミックスは結構、自分の趣味や好きな作品の世界について書けるからだろ?」

光 夏海

「それに、リベンジの意味も込めて書いているみたいですよ。」

門矢 士

「ああ、全く内容も知らないまま の鍊金術師を一番始めに書いてたな…。しかも、挙げ句の果てにハ ヒの世界は強引に終わらせたしな…。」

小野寺 ユウスケ

「ちょっと…（。 。 ）士…こきなり、暴露し過ぎだろ…？」

光 夏海

「そうですよ…世界の次はこの小説を破壊する気ですか…？」

門矢 士

「分かつたから、ぎやあぎやあ喰くな…とにかく、次回からいよいよ俺の新しい旅がスタートとする。」 海東 大樹

「土、そこは俺ではなく達を付けて複数形にすべきだよね？」

小野寺 ユウスケ

「フィリ…来人の名台詞パクつた～！！」

海東 大樹

「僕は地球とは直結してないから。」

光 夏海

「と、とにかくこんな危ない感じのネタもありますが、ぜひ応援お願いします！」

コミックストーク（裏話（後書き）

次回からスタートです。

コミックス1／新たな旅立ち（前書き）

最初に…。 今回は、

1・かなりコメディ要素満点

2・夏海の出番なし

など、かなりぶっ飛んだ内容だと思います。コメディ満点の『ディケイド』が見たくない方は、お戻り下さい。

コミックス1／新たな旅立ち

小野寺 ユウスケ

「次は、どんな世界何だろ～な。」

青年、小野寺ユウスケは呟いた。

門矢 士

「さあな…。」

ユウスケの言葉を素つ気ない一言で片付ける青年の名は門矢士。世界の破壊者として恐れられていたが、今は見る影もない。

小野寺 ユウスケ

「さあな…って、士…せつかくの旅何だからもう少し楽しもうぜ！」

門矢 士

「毎日毎日、同じ事の繰り返しで飽きた…。」

小野寺 ユウスケ

「ダメだつてそんな事言つちやーー『イケイド』って作品を根本的に否定してるだろ？」

門矢 士

「だがな、そう言つても『おーい、士君！ユウスケ君！』ちょっと手伝ってくれ』はあ…、怠いな…。」

小野寺 ユウスケ

「ほら、俺達は居候何だから手伝いに行くぞ士。」

士とユウスケを呼んだこの老人は光栄次郎。士とユウスケが居候している光写真館の主人である。

光 栄次郎

「悪いんだけど、この背景ロールをセットしてくれないかい？」

小野寺 ユウスケ

「これって、いつも違う世界に行く時に使つてゐやつと一緒にじゃないか！」

光 栄次郎

「ああ、そうだよ。君達が外に出ている間にいつもセットしているんだよ。」

門矢 士

「つて事は、次の行き先は爺さんが決めてるのか…？だが、その前

「いつも繩が壊れる発言はやめな。」

光 栄次郎

「いやー、すまないね。今回もバレないよ！」セシトしておいつと
思つたんだが、やはり年には勝てなくてね…。」

いつも繩が壊れる発言はやめな。

門矢 士

「あ…、分かつたから爺さんそんな田で見るなって…。変わりに
付けといてやるよ…ユウスケが。」

小野寺 ユウスケ

「ちょっと、待ていー！！」

門矢 士

「おお、ツッパリが卑くなつたユウスケ。これなら、吉 勝業狙え
るな。」

小野寺 ユウスケ

「いやいや、一体何の話だ？ つか何だよその設定は？」

光 栄次郎

「とにかく、頼んだよ一人共。私はキバーちゃんとお茶して来る

から?」「

そう言つと栄次郎は、キバー工と共に部屋から飛び出した。

門矢 士

「おい、待て爺さん……さつきの話忘れたのか?」

すぐさま後を追う。しかし、既に栄次郎の姿はなかつた。

門矢 士

「あの爺さん、クロックアップが使えるんじやないか?」

小野寺 ユウスケ

「じょうがない……。早く終わらせよ!」

門矢 士

「ああ。……で、どれをセットするんだ?」

小野寺 ユウスケ

「そうだな……よし、読者の投票で決めよ!……とつあえず、この3つから選んでもいいわ!。一番、投票数が多いロールをセットしよう!」

門矢 士

「ああ、大体分かった…。」

感想に描かれている絵の番号とその世界でして欲しい事を書き込んで下さい。また、感想や要望もありましたら気軽にどうぞ…。

1・魔法陣らしき物の中央に赤い石が描かれている絵（鋼の鍊金術師）

2・生徒会室のような部屋の絵（生徒会の一存）

3・その他

コミックス1／新たな旅立ち（後書き）

まさかの投票…。もし、2が選ばれたら…。（――・）

投票期限は、2010年7月21日までです。

コラージュス2・5（前書き）

今回もダラダラと…。

それと、多分見苦しいですね…く（。 。 ; ）

また、夏海出ません。

次回からはじつかり出します。

コラックス2・5

門矢 士

「ゴウスケ、どのロールが選ばれたんだ?」

小野寺 ゴウスケ

「3の背景ロール。…って事は、行き先も分からぬじゃないじゃないか!」

「…」

門矢 士

「だいたい分かった。」

士は、そう言つと素早くロールをセッティング始めた。

小野寺 ゴウスケ

「ちょっとー! 士、何付けてんだよー。」

門矢 士

「何つて、早く付けないと話が進まないだろ?」

小野寺 ゴウスケ

「そりゃあ…、そりだけど…。でも、これは絶対危険だろ?・罷だろ?・?」

門矢 士

「お、おいコウスケ…！？どうした？少し落ち着けって。」いきなり興奮し出したコウスケを宥める士だが、コウスケは尚も暴走した。

小野寺 コウスケ

「だいたい士はいつも、『だいたい分かつた…』って言つてゐるナゾ、本当に分かつてるのか？その場しおぎだら？」

門矢 士

「なつ…！？もしかして、俺…叱られてるのか？それと、声まねが微妙に似てて腹立つんだが…。」

小野寺 コウスケ

「クールな無口キャラは、ヒュー・マノイドインター・フォースに『えられた特権何だぞ士！…』

意味不明な事を言い出し興奮状態が臨界点を突破したコウスケは、士に襲いかかった。

門矢 士

「くそ、一体何だ…。今回の話は…。全く意味が分からん…。」

暴走したコウスケから逃げる士。だが、壁際に追い詰められ遂に絶

対絶命のピンチを迎えた。

門矢 士

「こんな時こそ…投票システム!! 今回のテーマは暴走したユウスクを止めるための方法。下の2つから有効だと思った物を一つ選んでくれ。」

1・光家秘伝笑いのツボ

2・ユウスケとのB・L・H・ン…『正解は、3番のぶつ飛ばすだ!!』

士の力強いエルボーがユウスケの顎を捕らえ、ユウスケはその場に倒れた。

門矢 士

「はあ…はあ…。小説の次は、何を破壊させる気だ作者…? 冗談でも書くな! 全然、健全じゃないだろ!! 考えただけで寒気がする…。と、とにかく次の世界は特撮作品の世界に行く事は決まった。コラボレして欲しい特撮作品を送ってくれ。俺は…寝る…。」

コラボクス2・5（後書き）

コラボして欲しい特撮作品がありましたら、ぜひ……本当に……お願いします。期限は、8月3日です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4094m/>

新・仮面ライダーディケイドリミックス

2011年4月8日21時31分発行